

# Windows XP に USB ドライバ(Ver1.0a)をインストールする

2002.4.2 シグマ光機 技術センター

## インストールする前に

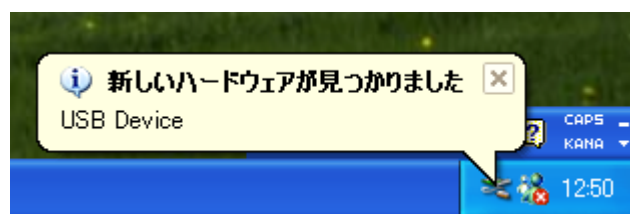
パソコンの Windows XP へ ActiveX がインストールされているか確認する必要があります。

予め Mark シリーズ (202,204) コントローラのメモリスイッチ 15 INTERFACE を USB に変更します。

(Mark 202,204 取扱説明書をご覧ください。)

## ドライバのインストール手順

1. パソコンの電源スイッチを ON にして、Windows XP を起動します。
2. Mark シリーズ (202,204) コントローラとパソコンの USB インターフェースを USB ケーブルで接続します。
3. Mark シリーズ (202,204) コントローラの電源を ON にしますと自動的に「新しいハードウェアの検出ウィザードの開始」が起動します。(下図参照)
4. ここでは自動的に「USB Device」が2回認識されますので、そのまま選んでインストールを完了もしくはキャンセルしてください。

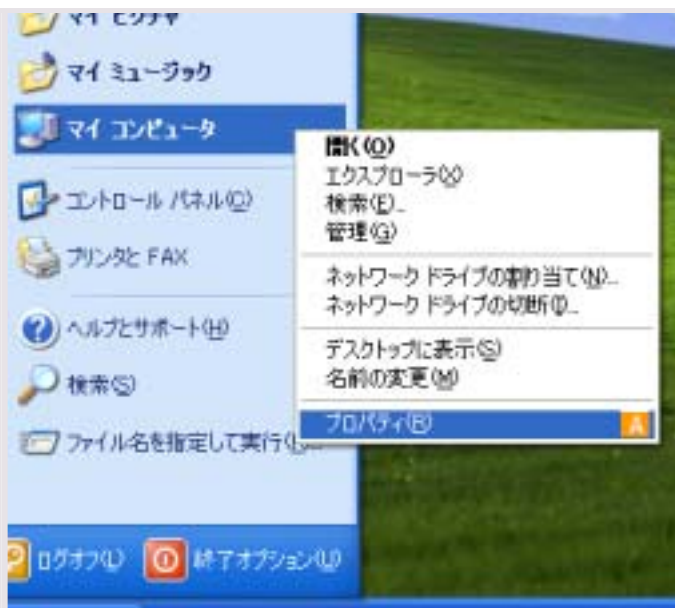


5. SGUSB デバイスドライバに変更します。

[スタート]メニューにある[マイ コンピュータ]をマウスで右クリックして、表示されるプロパティメニューの[プロパティ]を実行します。

### [マイ コンピュータ]アイコンを右クリックして表示されるプロパティメニュー

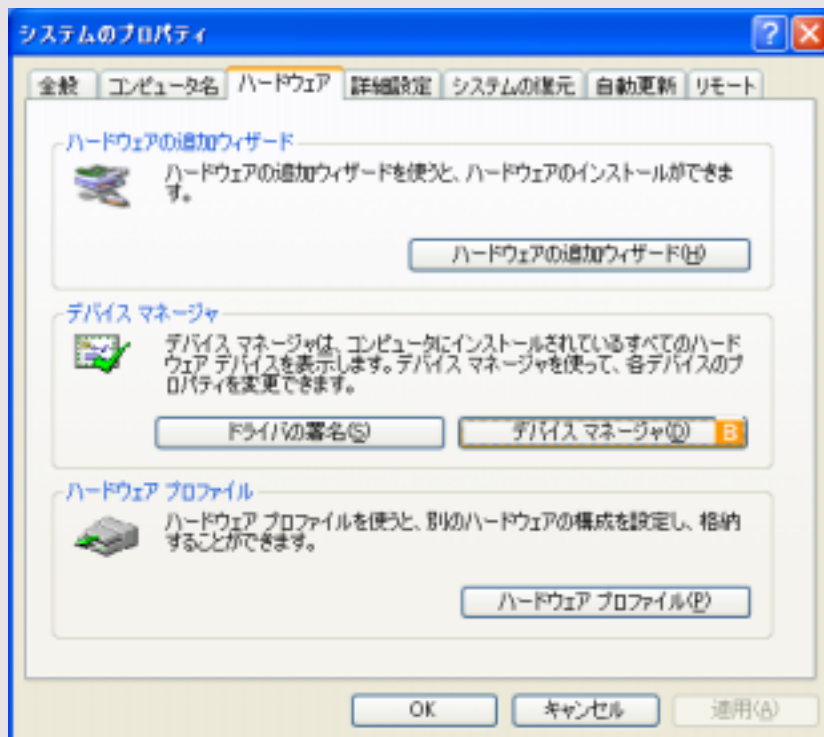
デバイスドライバを手作業で指定するには、[スタート]メニューにある[マイ コンピュータ]をマウスで右クリックすると表示されるプロパティメニューの[プロパティ]を実行する。



**A** [マイ コンピュータ]アイコン上でマウスの右ボタンをクリックすると、このようなポップアップ メニューが表示される。ここで[プロパティ]を実行する。 **A** へ

すると、[システムのプロパティ]というダイアログボックスが表示されるので、[ハードウェア]タブをクリックし、[デバイスマネージャ]グループボックスにある[デバイス マネージャ]ボタンをクリックします。

**A**



### [システムのプロパティ]ダイアログの[ハードウェア]タブ


ここから、デバイスの状態の確認や、設定変更を行うツールであるデバイス マネージャを起動できる。

**B** このボタンをクリックしてデバイス マネージャを起動する。 **B** へ

デバイス マネージャは、システムに接続されたデバイスを一覧表示し、これらの設定を確認したり、変更したりするためのツールです。今回はここからデバイスドライバの更新を行いますが、それ以外にも、何らかのハードウェアトラブルが発生した場合には、デバイス マネージャで現在のデバイスの状態を確認すると、原因を特定したり、トラブルを解消したりすることができます。

デバイス マネージャでは、次のように各デバイスがツリー表示されます。特定のデバイスに関する詳細情報を表示したければ、各項目の左側にある「+」ボタンをクリックします。下の画面は、この方法により、今回操作する「USB コントローラ」の詳細を表示したところです。

**B**



**デバイス マネージャ**

このデバイス マネージャは、システムに接続されたデバイスを一覧表示し、現在の状態を確認したり、設定を変更したりするためのツールである。画面は、「USB コントローラ」項目の左側にある「+」ボタンをクリックし、詳細を表示したところ。

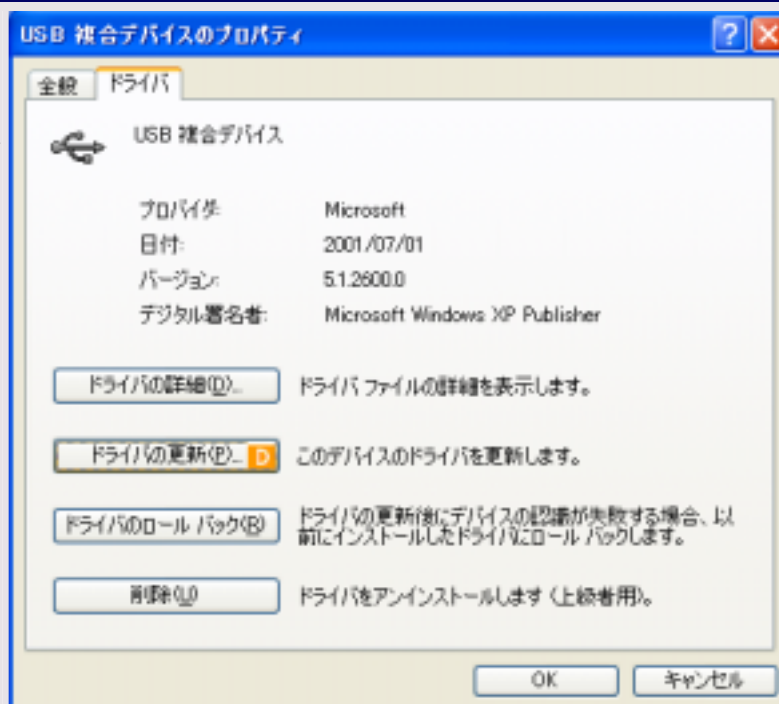
**C** この部分をダブルクリックして、デバイスのプロパティを表示する。 **C** へ

このデバイスツリーから特定のデバイスの項目をダブルクリックすると、当該デバイスのプロパティ ダイアログボックスが表示されます。

**C**

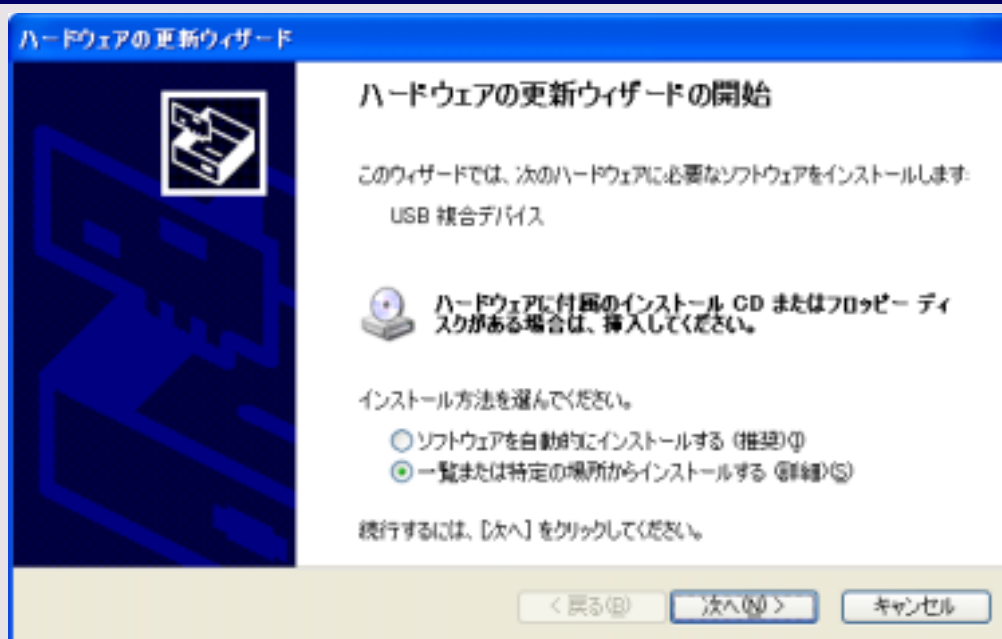
## デバイスのプロパティ ダイアログボックス - [ドライバ] タグ

デバイスのプロパティでは、各デバイスごとの詳細な設定や確認などが行える。ドライバを手作業で指定するには、ここで[ドライバ] タグをクリックする。

**D**

デバイスドライバを更新するには、このボタンをクリックする。 **D**へ

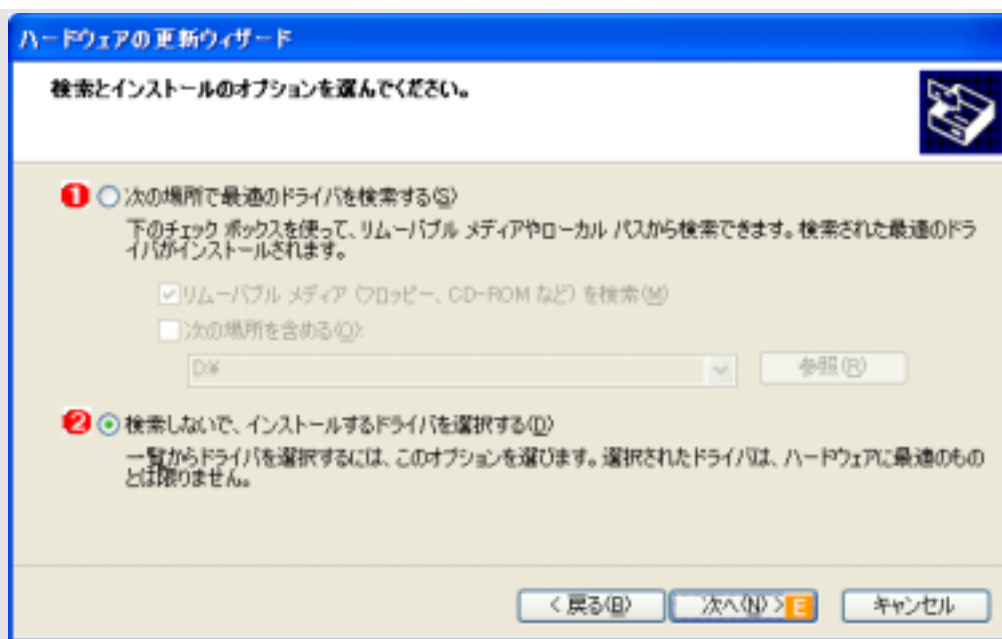
このデバイスのプロパティダイアログでは、デバイスの現在の状態(有効になっているか、正しく動作しているか、など)や、デバイスごとのパラメータ設定、現在のドライバ バージョンの確認、ドライバの更新、使用リソースの確認と変更などが行えます。デバイスドライバを手作業で指定するには、ここで右下部分にある[ドライバの更新]ボタンをクリックします。

**D**

## デバイス ドライバの更新 ウィザード

Windows XP では、ドライバの更新もこのようなウィザード形式で行うようになった。このウィザードでも、デフォルトではデバイスを自動検出して、適切なドライバを自動的に組み込む設定になっているが、デフォルト以外の指定を選ぶことで、任意のドライバを組み込むことが可能である。

[ドライバの更新] ボタンをクリックすると、このような[デバイス ドライバの更新 ウィザード] が起動されます。インストール時の処理と同様、デフォルトでは、ウィザードがデバイスを自動的に認識して、最適だと判断されたドライバが推奨される設定になっているのですが、手動設定を選択すれば、任意のドライバを組み込むことが可能です。



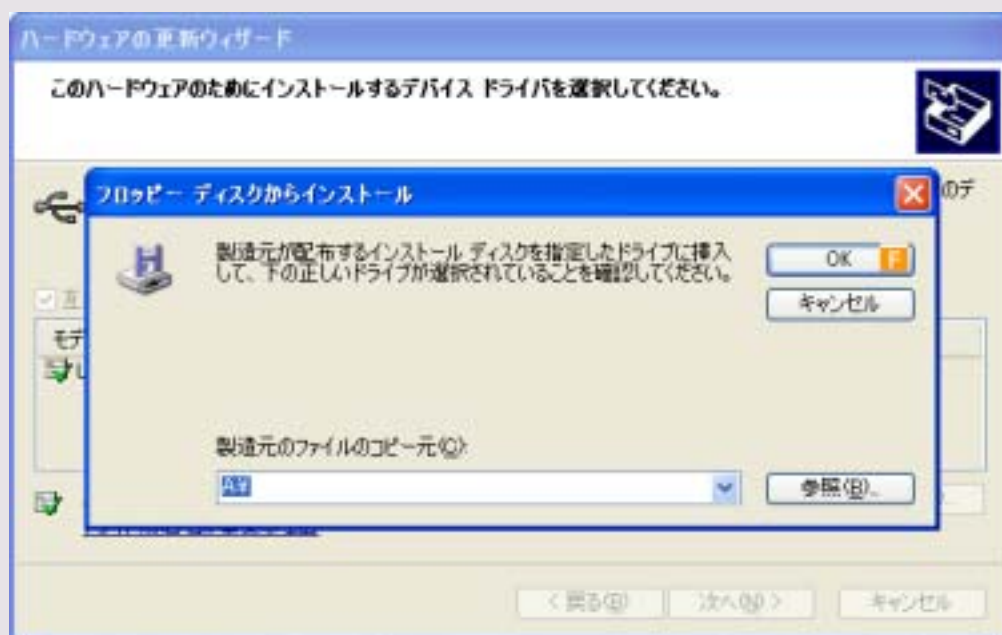
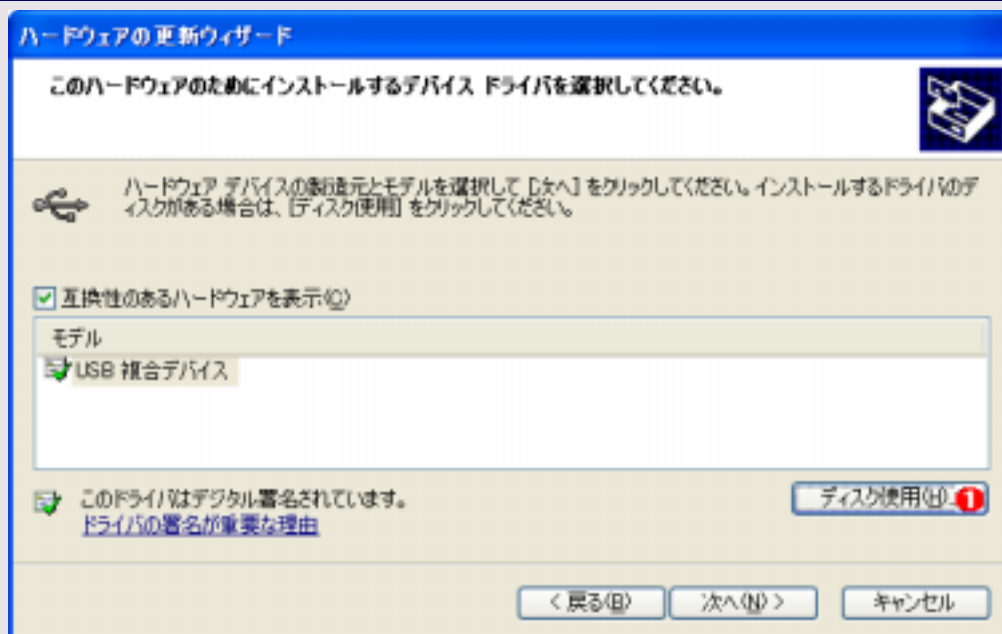
### デバイス ドライバの検索方法を指定

ここではデバイスドライバの検索方法を指定する。任意のドライバを指定するには、[検索しないで、インストールするドライバを選択する]を選ぶ。

①	ウィザードに最適なデバイスを検索させる場合はこちらを選択する(デフォルト)。
②	一覧から手作業でドライバを指定するには、こちらを選択する。
E	ここをクリックして次に進む。 E へ

ドライバを一覧から手作業でドライバを指定するので、ここでは[検索しないで、インストールするドライバを選択する]を選択し、[次へ]をクリックします。

E



### ドライバファイルの特定

ここではデバイスドライバのインストールディスクを指定する。[ディスク使用]をクリックする。

**1** インストールディスクを指定する。

**F** [製造元のファイルのコピー元]を入力。ここをクリックして次に進む。 **F** へ

ここではデバイスドライバのインストールディスクを指定し、[ディスク使用]をクリックする。



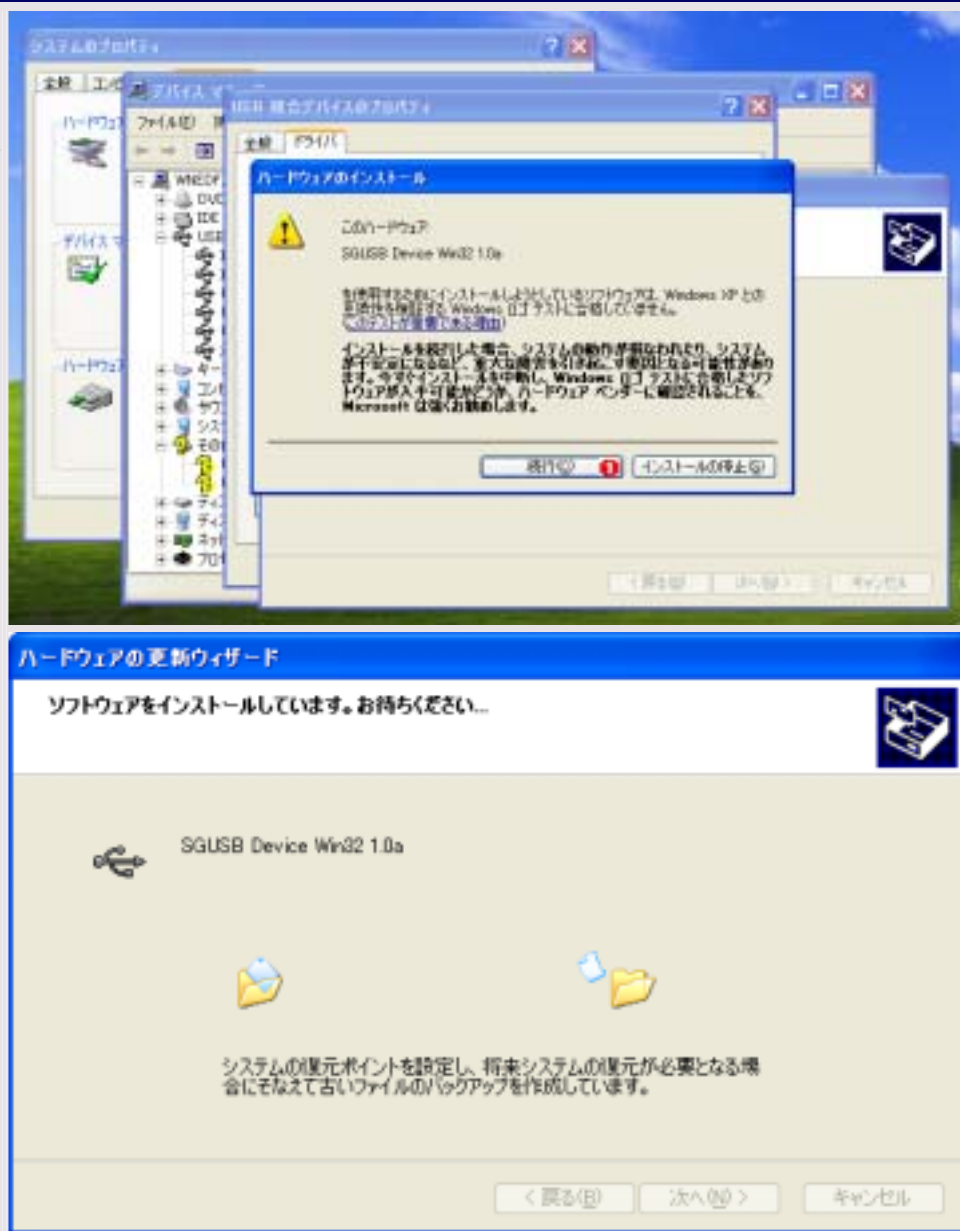
フロッピーディスクドライブにインストールディスクを挿入して[製造元のファイルのコピー元 (C:)]を“A:”にします。[OK]をクリックしますとフロッピーディスク内の検索が開始されます。

下図のような、警告メッセージが表示されますが、本デバイスドライバは十分な社内テストを実施していますので問題ありません。( ご注意事項 (P. 5)をご一読願います。)

F

## デバイス ドライバの検索

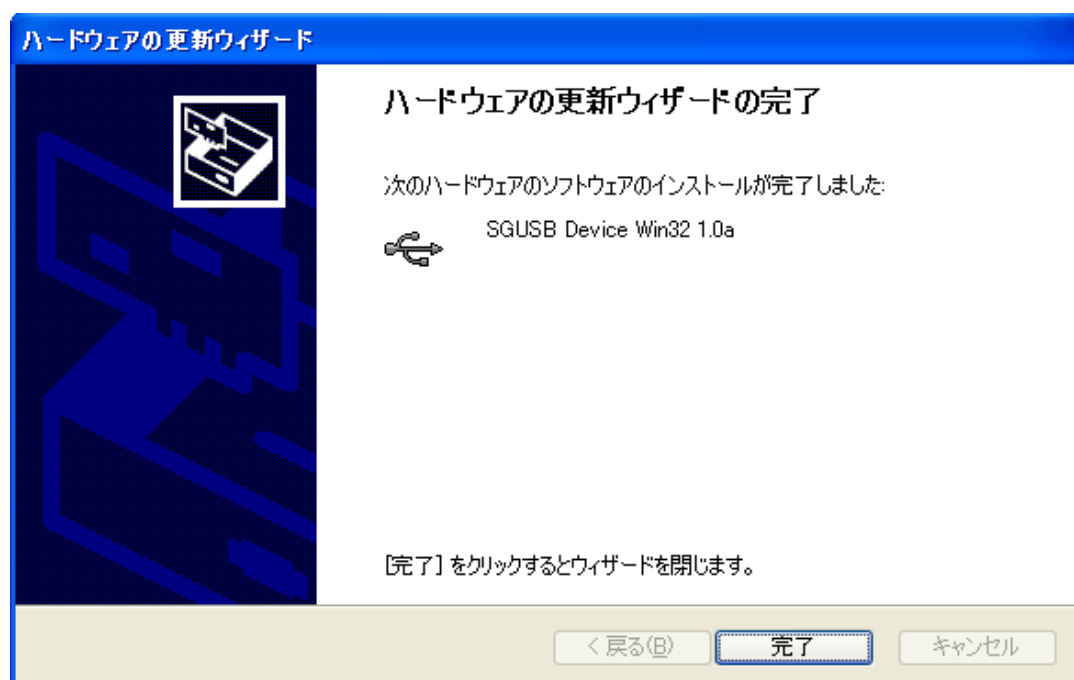
正しければ①[続行]をクリックすると、選択したデバイス用のデバイス ドライバが組み込まれる。この例では、Mark シリーズ用ドライバを検出している。



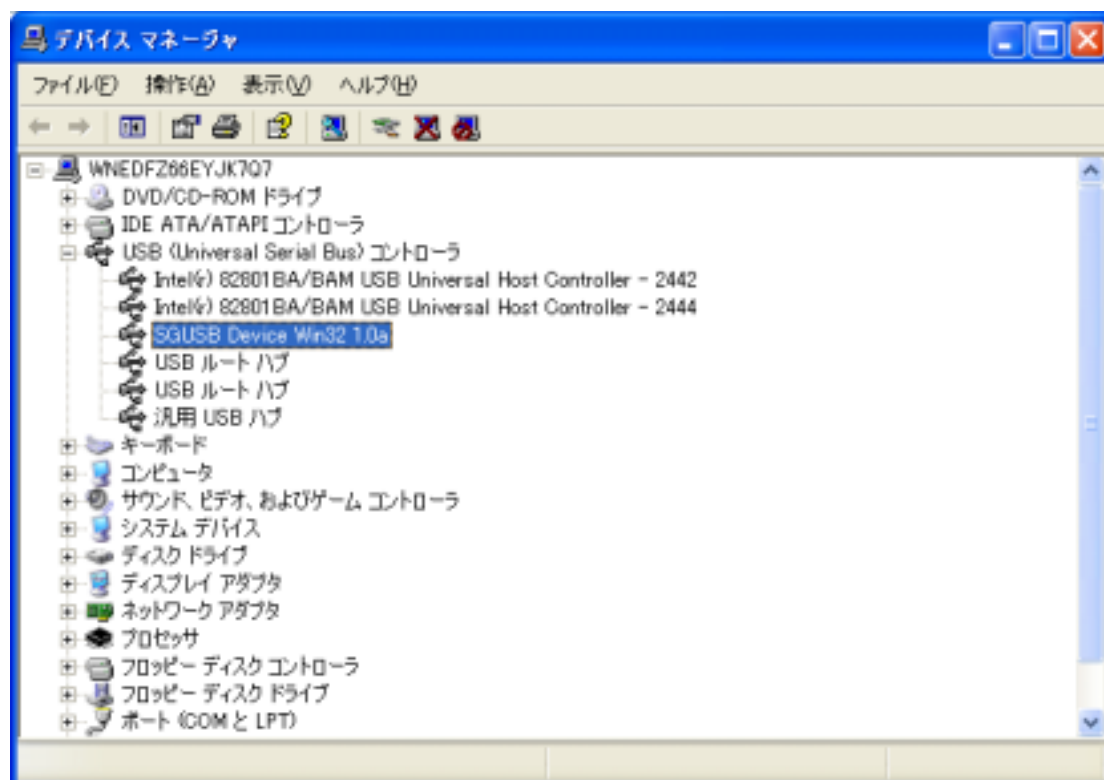
まずは[製造元]のハードウェア ベンダ「シグマ光機」から提供しているインストールディスク内を検索します。当該デバイスドライバがフロッピー内から検出されましたら、インストールファイル名(a:¥sgusb.inf)が表示されますので、正しければ[次へ]ボタンをクリックします。すると、検出したデバイス用のドライバが組み込まれます。



正常にドライバが組み込まれたら、下図のように「ハードウェアの更新ウィザードの完了」が表示されますので「完了」をクリックします。



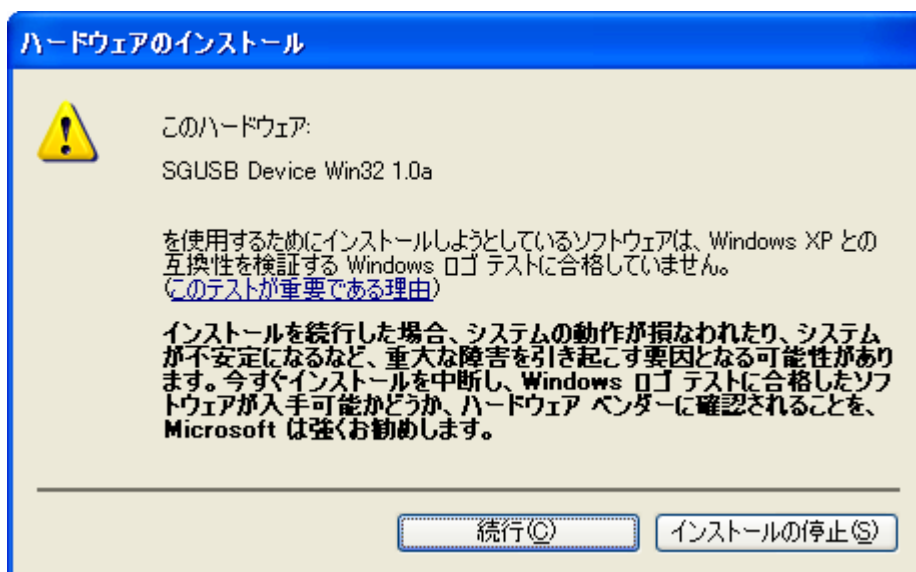
最後に再びデバイスマネージャを起動し当該デバイスが組み込まれたことを確認します。



## ご注意事項

### ・接続時に表示される警告メッセージについて

ActiveX のインストール後、Windows XP または Windows 2000 標準プレインストールのパソコンに初めて Mark202/204 コントローラ本体をパソコンに USB 接続するとき、下記のような警告が表示される場合があります。エラーではありませんので、**[続行(C)]** ボタンをクリックしてインストールを進めてください。正常にドライバインストールが行われます。



## お問合せ

本アップデートサービスのお問い合わせは以下までお願いいたします。

### 【お電話でのお問合せ】

シグマ光機(株)技術センター

TEL : 076-274-6101

FAX : 076-274-6106

受付時間 : 月～金 9:00～17:00 (祝祭日、年末年始等を除く)

### 【ホームページからのお問い合わせ】

[こちら](#) からお問い合わせください。

<http://www.sigma-koki.co.jp/inquiry/index.html>

E-mail : [info@sigma-koki.co.jp](mailto:info@sigma-koki.co.jp)